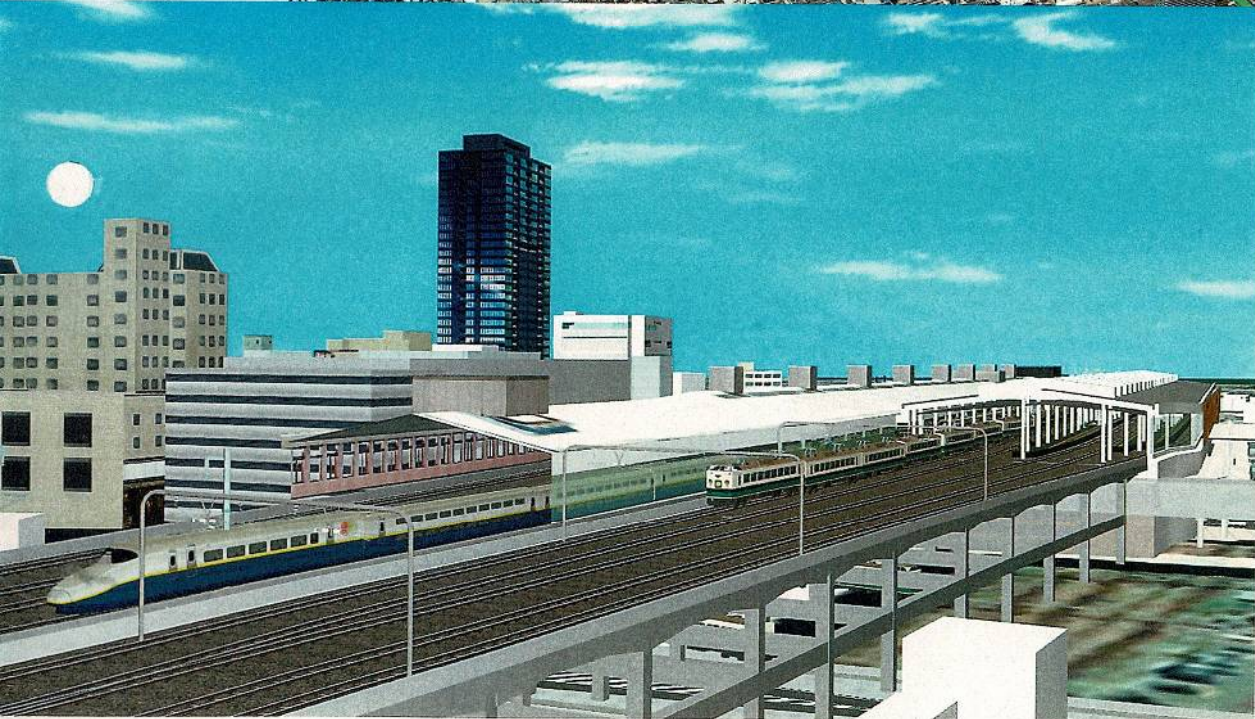




花開く活力、
広がる笑顔、
政令市新潟

新潟駅付近 連続立体交差事業の概要



人と環境にやさしい交通空間創出と南北市街地の一体的整備に貢献し、新潟市の拠点性向上と日本海国土軸の強化を図ります

■新潟駅付近連続立体交差事業 事業概要

事業主体：新潟市

鉄道路線名：JR信越本線、白新線、越後線

高速鉄道の範囲：約4.5km

高架化区間：約2.5km

除却踏切：2か所（天神尾踏切、米山踏切）

事業期間：平成18年度事業着手～平成33年度高架駅開業
（平成30年度高架化完成（越後線））

■現状と課題

踏切の現状

- 米山、天神尾の2箇所の踏切で交通混雑が発生しています。
- 歩行者と車が狭い踏切を通っているため危険な状態となっています。



天神尾踏切

駅周辺地区の現状

- 鉄道を横断する道路が少ないため、周辺道路においても交通混雑が発生しています。
- 鉄道で南北の市街地が分断され、発展に不均衡が生じています。



(都)出来島上木戸線

■連続立体交差事業の事業効果



鉄道横断箇所における交通混雑が緩和されるとともに、踏切事故が解消され、安全性、利便性が向上します。

交差道路の整備や、鉄道によって分断された市街地の連続性が高まることにより、一体的なまちづくりに貢献します。

交通結節点である新潟駅における乗り換え、移動が円滑になり、公共交通の利便性が向上します。

交通渋滞の緩和による燃料消費量の削減、温室効果ガス排出量削減により、環境への負荷が軽減されます。



連続立体交差事業の整備イメージ

●米山踏切付近



踏切で在来線と道路が平面交差しているため交通渋滞が発生し、また、歩行者と自動車が狭い踏切を通行しています。



整備イメージ((都)新潟鳥屋野線)
踏切が除去されることで交通の流れが円滑になり、また、歩行者・自転車の安全性が向上します。

●東跨線橋付近



東跨線橋付近では沿道の土地利用や乗り入れに制約があります。また、歩行者・自転車の通行には、安全性等の課題があります。



整備イメージ((都)明石紫竹山線)
平面道路になることで、沿道の土地利用が向上します。また、歩行者・自転車の快適性、安全性が高まります。

●新潟駅付近バス乗降場



新潟駅と駅前バス乗降場が離れています。バスの停車がスイッチバック方式となっており、安全性の確保及び交通処理に課題があります。

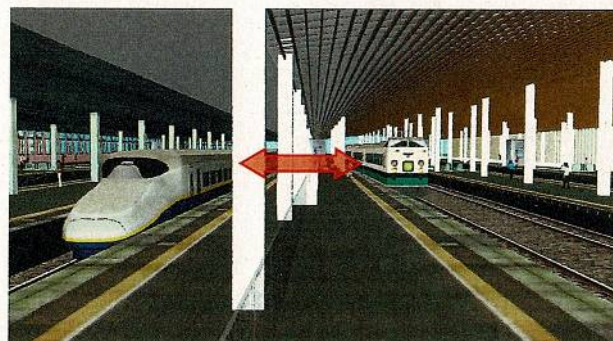


整備イメージ
高架化された新潟駅の一階部分にバス乗降場が整備され、利用者の利便性や安全性が向上します。

●新潟駅ホーム



新幹線と在来線を乗り換える際に移動距離が長く時間がかかっています。



整備イメージ
新幹線と在来線が同一のホームとなり、乗り換え時間が短縮されます。(新幹線・在来線同一ホーム事業)



いきちが行違い設備(複線化)

高架化

縦断面図



区間延長 約 2.5 km

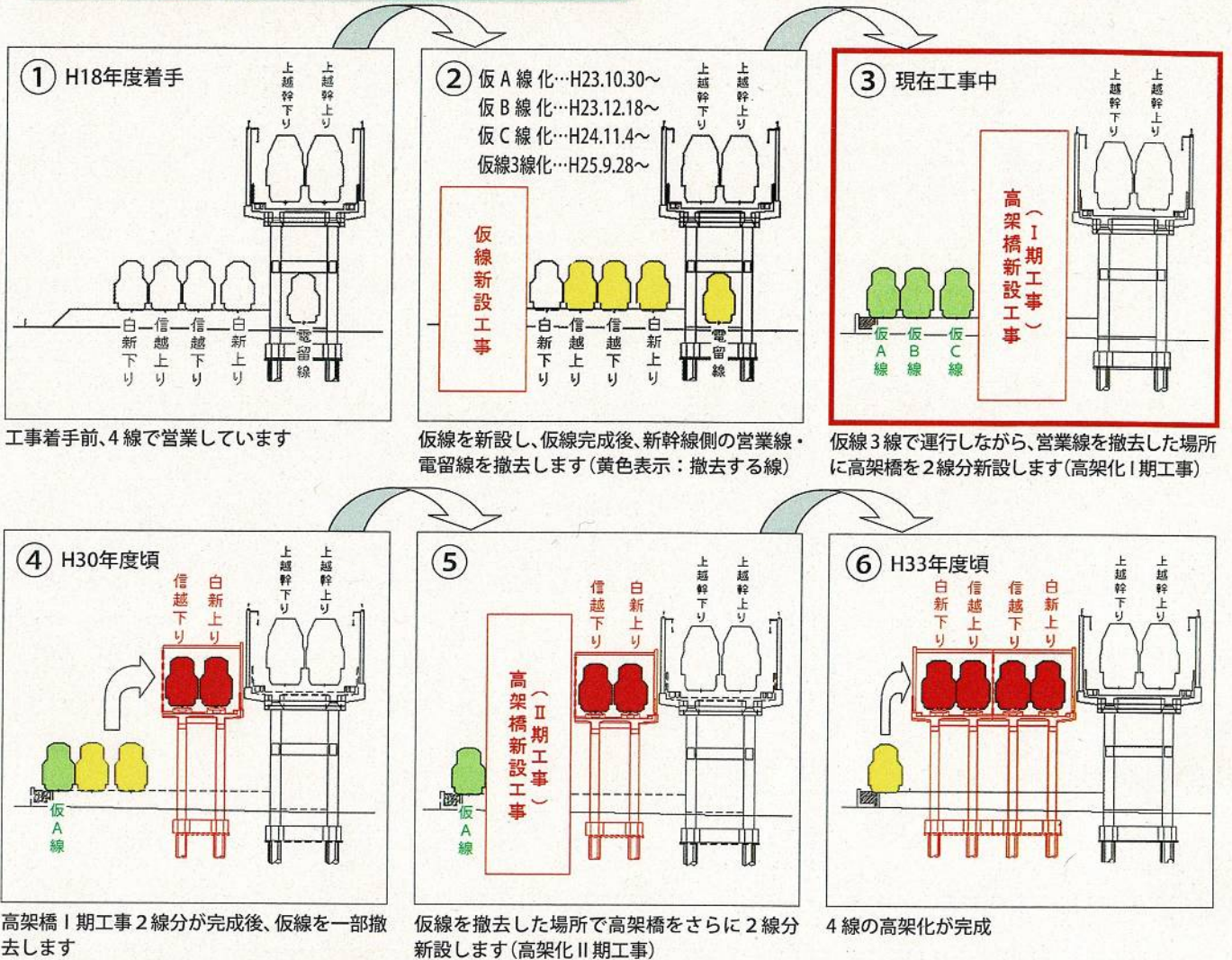
在来線レール高さ：約16m(ホーム高約17m：新幹線と同じ高さ)



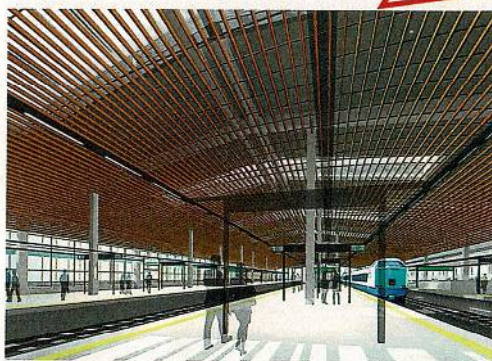
至東新潟駅・越後石山駅

■ 施工ステップ (信越線・白新線)

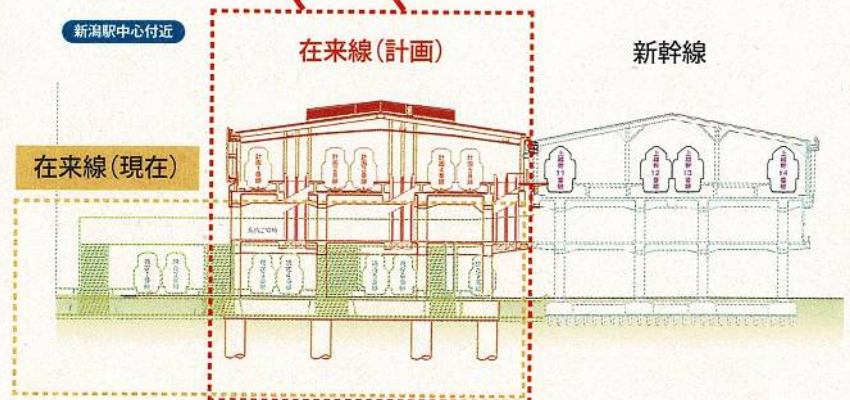
※越後線は新幹線側に仮線を敷設します



■ 新潟駅部完成イメージ・標準断面図



在来線ホームイメージ



お問い合わせ

新潟市 都市政策部 新潟駅周辺整備事務所
〒950-0911 新潟市中央区笹口1丁目2番地2
プラカ2 7階
TEL 025-245-1260(代) / FAX 025-245-1259
TEL 025-245-1266(鉄道高架グループ)
E-mail: ekishu@city.niigata.lg.jp

ホームページ

<http://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/doro/ekisyu/index.html>

ホームページは、 で検索!

工事進捗
(新潟市HP)



実際の完成状況は、掲載のイメージと異なる場合もあります。 平成27年11月